

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日	
審議対象件数	1,147件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	4件	(審議概要) 地方調達 1 地方調達発注実績について 2 抽出事案について
一般競争	4件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問  ○それに対する回答等	<p><b>【地方調達発注実績について】</b> 特になし</p> <p><b>【抽出事案について】</b></p> <p>1 〔はさみ外179品目購入〕 (一般競争)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積算価格算定方法は市場価格調査によるとのことであるが、どのような方法か説明されたい。</li> <li>・オープン価格の物品はどれくらいの金額か。</li> <li>・落札率が99.6%と高いが、参加者に予定価格が読まれているということにならないか。</li> <li>・総額200万円程度の物品購入であるが、積算価格の算定に係る職員のコストを考えれば、入札行為が必要かどうかも含め他の簡易な方法を検討すべき時期に来ているのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品等はカタログ価格(定価)の70%、トナー類は80%で査定した。また、オープン価格(定価のない物品)の場合は、業者見積り価格を採用し、過去5年間の契約実績の平均値を参考に総合的に判断して算定した。</li> <li>・180品目のうち3品目で4万円程度である。</li> <li>・各参加者は過去の実績も承知しており、大多数の物品に定価があることから、ある程度の予測がつくものと思われる。</li> <li>・他省庁の動向も注視して参りたい。</li> </ul>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>2 [平成25年度新田原飛行場周辺外移転措置建物等調査、平成25年度新田原飛行場周辺移転措置建物等調査(その2)]</b> (一般競争)</p> <p>・2件とも同様の業務内容であるにも関わらず落札率の低い(約62%)ものと、一方、約96%の高い落札率で各参加者の入札金額にバラツキが少ないものとなっているが、何か要因があるのか。</p> <p>・履行期間がそれぞれ平成25年10月末と11月末であるが、同様の事案であることから1件で発注出来なかったのか。分割する必要があったのか。</p> <p>・本業務の成果品は何か。</p> <p>・補償額を算定する業務ということだが、例えば、構造、築年数、その他グレードなどの違いにより補償額を恣意的に算定出来るのではないか。本調査が防衛施策に反映されるという観点からして、受注者が判断基準を甘くしているものではないという担保がされていることが必要である。補償という経済行為が発生する異質な契約であるから、疑念がないことをしっかり担保しているか。</p> <p>・次回の委員会で、成果品の確認方法及び受注者(査定者)に対する倫理及び義務規定等について説明されたい。</p>	<p>・業務の調査対象規模が異なること、対象物件の所在地も複数又は1か所であることから、規模の大小による低減可能な経費の額と各参加者の受注意欲の違いが入札に反映されたものと思慮する。</p> <p>・本計画は、当初から年度内実施を予定していた1件目の入札後、予算の状況を踏まえて2件目を追加発注したものである。</p> <p>・建物移転に係る補償額を算定するものである。</p> <p>・防衛局としても、対象となる建物については職員が現地で確認を行っている。なお、入札参加業者が当該物件所有者と資本又は人事面において関連がある者でないことについては確認を行っており、成果品についても、防衛省の内規に従って厳格に審査を行っている。</p> <p>・次回報告する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p><b>3〔沖永良部島分屯基地施設発生物品売払〕</b> (一般競争)(一者応札)</p> <p>・鉄くずの売払いであるが、落札者は現地を確認しているのか。また、落札額が予定価格の約6倍と高いが、何か要因があるのか。</p> <p>・売払い案件の予定価格の算定方法として、総額から引取経費等を差し引くことについて、その考え方や離島における事情等を仕様書等にも明記すべきであると考える。</p> <p><b>4〔駐留軍等労働者の健康診断等業務委託〕</b> (一般競争)(一者応札)</p> <p>・健康診断業務は毎年行っているのか。入札参加者は変わらないのか。</p> <p>・入札参加者を増やすために、健康診断項目等を分割して発注すること等は出来ないのか。</p> <p>・今後も競争性の確保に努力されたい。</p>	<p>・建物解体によって発生した鉄くずには多様な金属類が含まれるため、参加者に入札前の現物確認を義務づけている。なお、受注者に確認したところ、コンテナ利用により引取経費等を抑制出来るとのことであった。</p> <p>・離島における引取経費等については、今後検討して参りたい。</p> <p>・毎年度実施する健康診断である。入札参加者数については、平成23年度は1者で落札率が約99%、平成24年度は2者の応札があり落札率は約69%であった。なお、平成25年度も2者が入札に参加したが、1者は辞退札であった。</p> <p>・検査項目が多く分割は困難と思われる。また、多数の医療機関に入札への参加をお願いしているが、健康診断対象者の年間延べ人数が約4千人と規模が大きいことから、ほとんどの医療機関に同じてもらえない難しい状況である。</p> <p>・現在の2者は確保しつつ更に努力して参りたい。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0件	(審議概要) 該当案件なし
○委員からの 意見・質問  ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	なし	
委員会による意 見の具申又は勸 告の内容	なし	